

てんしん新聞

08.5.No132
発行 市岡田
番 0683-88-5292

鎌倉市より

村民の堀畑をんら来村する

活糸社谷村独立して、おぐに入村して頂いた
神奈川県鎌倉市の堀畑さんか三人が来村し
頂きました。
西社谷山村や東社谷を観光、時に東社谷
では平家伝説の色、之残るという史跡を希望
され、早稲盛の直系の阿佐家を訪ね、理当まよ
り、赤旗をはじめ様々な説明をして頂き、大変喜
んでいただきました。
単に登山で説明するだけではない、多くの逸話
があり、自身も大変勉強になりました。
不思議なことに降るという雨とやみ、ゆづりとした
史跡めぐりができました。
夜は都合のつくおぐすが集まりました。歓迎会に



ちやうど山菜の季節で、次から次へ
と山菜料理が並べられ、大変お
いしくいただきました。交流も一層盛りあ
がりました。
また、高橋さんが祖谷の民謡を一
曲、そして、手作りの尺八を吹き、橋本
さんの自慢のノドを披露してくると、なごめ
かな時間が流れ、祖谷の静けさを感じて
いただきます。



歓迎会に津村さん、堀畑さん、おぐさん
どろろどろろ？

また、今年もニュー・ユー・ランドのアンナさんが来村
祝いで親友のあつたおぐさんが集まりました。
楽しい時間をすごしました。
アンナさんは、今回ニュー・ユー・ランドに帰国、今年
後に祖谷に来る事を約束して、山菜山菜、
家が大好きという事ですので、ご協力下さい。
こうして、少ないながらも来村して下さる方が鏡
にあり、少しおぐさんがおめかしている祖谷
村の三年目です。

楽歌

時の流しに

作詞 長尾孫夫

祖谷に、こゝな素晴しい人がいらした。なんぞ知り
ません。村民の谷津精衛さんの自費出
版本「祖谷溪換歌」ではじめて知る、ことが
出来ました。
その人は、栗枝渡出身の長尾孫夫さんです。
幼学で徳島甲斐、高知高等学校、京都大学
へと進み、正義感強く生きた短く短い人生がした
が、歴史の中にその存在は輝き、谷津さんがラ
イフワークとして調べ、本にし、新をめぐら
あつて下さりました。
正義感だけではない、長尾さんの感性も人並
い上、高知高等学校の楽歌「時の流し」に
作詞し、多くの楽歌ファンに絶大な人気を得
ているそうです。
その長尾孫夫さんが七人なる今年が七の回
だそう。五月十五日、孫夫さんの墓前に集
楽歌と七の回を後輩の皆さんの呼びかけで
計画されていますので、参加頂ければ幸
長尾孫夫氏墓前楽歌の集い
五月十五日、十時より、栗枝渡

